

平成 23 年度 一般廃棄物処理基本計画施策実施状況

(継続：前計画より継続)
(新規・未実施：本計画より実施)

(施策体系)		所管課	施策概要	区分	平成 22 年度実績	平成 23 年度の状況	
基本方針・施策						計画・目標とする成果等	実施状況
基本方針1 3Rの推進							
1-1)	発生・排出抑制の啓発・支援	減量推進課	ごみの発生・排出抑制の様々な手法・場面での啓発や取り組み支援を継続	継続	ごみ排出抑制啓発事業 レジ袋辞退率：91.1% 廃食用油回収量(施策1-12)	ごみ排出抑制啓発事業 ・啓発のばり掲示 ・広報えべつ等による啓発	損傷のばりの随時交換 マイバグ持参、リサイクルバンク等の広報
1-2)	広報機能の充実	廃棄物対策課	ごみ処理に関する情報提供について、引き続きタイムリーで見やすく分かりやすい広報に努める	継続	・広報えべつ 32件掲載 ・ごみコミえべつ 3回発行 ・手引き・カレンダー・リーフレット各 1回発行 ・ホームページ随時更新 (掲載内容) 大型ごみ収集実施や制度変更等、ガス対策、不法投棄や野焼き禁止、分別の徹底等周知	・ごみに関する事項について引き続き、広報えべつ等に掲載し周知・啓発を図る ・HPに改訂版のごみステーション設置 手引きをアップ	・ごみ処理に関する情報提供 広報えべつ掲載 21件(12月現在) ごみコミえべつ 3回発行 分別の手引き・カレンダー各 1回発行 ホームページ随時更新(手引きをアップ)
		減量推進課					
1-3)	環境教育(学習)の推進	清掃管理課	・環境教育教材等を充実することで環境意識の醸成を図る ・個人を対象とした処理施設見学会など施設見学を充実する ・関係団体と連携しながら、講座の充実に努める	継続	・小学生向けパンフレット作成 2,000部 ・施設見学者数 リサイクルセンター 166人 クリーンセンター 475人 両施設 269人 ・出前講座開催 23回(大型ごみ説明会含む)	・見やすく分かりやすい資料の作成 ・両施設の見学者の増加 ・出前講座の充実	・小学生向けパンフレット作成 2,000部 ・施設見学者数(11月末現在) リサイクルセンター 283人 クリーンセンター 873人 両施設 68人 ・出前講座開催 3回 114人参加(12月現在)
		減量推進課					
1-4)	市民団体等との協働	減量推進課	市民団体等との連携を深め、協働に向けた取り組みを積極的に進める	継続	委託事業として えべつ消費者協会：マイバグ講習会開催ほか 江別市女性団体協議会：堆肥化講座開催	発生・排出抑制の促進を目標に、広く市民にリサイクル意識を啓発する	えべつ消費者協会や江別市女性団体協議会と連携しごみの排出抑制事業を実施
1-5)	生ごみ減量化の推進	減量推進課	生ごみ堆肥化容器などの購入助成や水切り啓発など、生ごみ減量の継続的な普及・啓発を行う	継続	堆肥化容器等購入助成申請件数 電気式処理機 21台 堆肥化容器 80台	生ごみ減量のため水切りの啓発や堆肥化容器及び電気式処理機の購入助成を継続	・環境広場にて水切り器配布 ・堆肥化容器等購入助成申請件数(12月現在) 電気式処理機 5台、堆肥化容器 68台
1-6)	リサイクルバンクの運営	減量推進課	再利用(リユース)の実践・啓発の拠点として引き続き運営する	継続	来場者数：7,091人 回収点数：1,289点、再利用点数：1,253点	まだ使用できる不用品の地域循環の拠点として運営する	来場者数：4,191人 (11月末現在) 回収点数：911点、再利用点数：884点
1-7)	リユース活動の情報提供	減量推進課	リユース活動が広く市民に定着するよう広報等で情報提供する	継続	フリーマーケットの開催情報を提供 広報えべつ掲載 11回	広報えべつ等でフリーマーケット開催情報を提供	開催情報の掲載 7回(広報えべつ12月号まで)
1-8)	事業系食品残渣再利用の調査研究	減量推進課	食品残渣を飼料化、堆肥化等で再利用する食品リサイクルループの可能性について調査研究する	継続	事業者の計画の可否について調整したが、初期投資額、買取価格などの懸念から事業者側が断念	食品残渣の適正処理のほか、その需要について調査・研究を継続する	先進地視察予定(2月)
1-9)	集団資源回収の推進	減量推進課	資源回収奨励金の交付継続や実施団体名・回収品目等について情報提供を強化する	継続	登録団体：225団体(実施団体：208団体) 回収量：8,200 t	奨励金の交付を継続しホームページやチラシにより周知を図り回収量の増加を図る	・登録団体にチラシを郵送 ・登録団体：224団体(実施団体：206団体) 回収量：4,219 t (前期実績分)
1-10)	資源物収集の品目拡大の検討	減量推進課	排出の利便性や処理コスト等を踏まえ、分別品目の拡大を検討	新規		資源物の品目拡大について研究する。	先進地視察予定(2月)
1-11)	事業者の自主回収ルートの活用	減量推進課	自主回収の取り組み状況を把握し、その情報提供により事業者回収の活用を図る	継続	自主回収状況：市内17カ所 かん類7カ所、ペットボトル9カ所、牛乳パック15カ所、白色トレイ13カ所、廃食用油11カ所	市内の比較的大規模な事業者について取り組み状況を調査し、ホームページで市民に周知する。	ホームページに回収状況掲載 自主回収状況：市内17カ所 かん類6カ所、ペットボトル7カ所、牛乳パック15カ所、白色トレイ12カ所、廃食用油10カ所
1-12)	植物性廃食用油の拠点回収の情報提供	減量推進課	市民・事業者の利用の推移を見守りつつ、引き続き回収拠点について情報提供する	継続	回収拠点：11カ所、回収量：8,822t	ホームページや分別の手引きなどに回収拠点を掲載し廃食用油回収量の増加を図る	回収拠点：10カ所、回収量：6,002t (11月末現在)
1-13)	布類の拠点回収の拡充	減量推進課	活用可能な綿50%以上の布を回収する取り組みについて拠点回収の拡充を進める	継続	回収拠点：2カ所、回収量：1,841kg (市民活動センター、フリーマーケット会場) ※フリマ主催 日本リサイクルネットワークえべつ	拠点回収の拡充を進める	回収拠点：2カ所 (市民活動センター、フリーマーケット会場) 回収量：1,991kg(9月末実績)
1-14)	使用済小型家電の回収	減量推進課	イベントを活用した希少金属の回収状況を見ながらその手法を検討	継続	イベント(消費者フェア10月)回収の実施 回収量：440kg	イベントでの拠点回収を行うことで市民に回収を知ってもらう	イベント回収実施 回収量：453kg (消費者フェア 5月：208kg、環境広場 6月：245kg)
1-15)	グリーン購入の推進	清掃管理課 廃棄物対策課 減量推進課	引き続き、環境に配慮した商品や再生品の優先的な購入を推進	継続	文具類、OA機器、その他の物品について、ガイドライン適合物品を積極的に購入	ガイドラインや市のグリーン購入調達方針に沿った物品の購入に努め環境負荷をできるだけ少なくする。	必要性の有無及び品質を考慮し環境への負荷が少ないものを購入する

平成23年度 一般廃棄物処理基本計画施策実施状況

(継続：前計画より継続)
(新規・未実施：本計画より実施)

(施策体系)		所管課	施策概要	区分	平成22年度実績	平成23年度の状況	
基本方針・施策						計画・目標とする成果等	実施状況
基本方針2 適正なごみ処理の確保							
2-1)	安全・安心なごみ処理体制の確保	処理施設担当	運転の効率化や施設の適正な維持管理に努め、引き続き安全・安心なごみ処理を行う	継続	不具合による施設の運転停止日数2日	施設の適正な維持管理、整備計画等の確認による運営維持管理を行う	事業者との協議、指導による施設の適正な維持管理、整備計画等の確認 (不具合による施設停止1日)
2-2)	民間処分業者の活用	減量推進課	施設の特性を踏まえ、必要に応じ許可品目を拡大するなど、民間処分業者の活用を図る	継続	一般廃棄物処分業者 5社 (可搬型破砕：2社、破砕：3社)	処分業の許可品目の拡大 品目の種類：畳・木くず・紙くず(事業系のみ)	処分業許可品目について民間処分業者と協議
2-3)	在宅医療廃棄物の適正処理	減量推進課	医療関係者との協議により、医療廃棄物の処理範囲を明確化し適正処理を図る	新規		現状を把握し、関係部署、医療関係機関との協議を行い、排出方法を市民に周知する	・医療関係機関と協議(5月) ・広報えべつ(ごみコミえべつ)、分別の手引き、ホームページ等に掲載し市民に周知
2-4)	地域生活環境の保全	廃棄物対策課	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄・野焼き防止の啓発継続と関係機関との連携による監視強化 ・ごみステーション管理の地域の取り組み支援の継続 ・共同住宅入居者へのごみ排出ルールの徹底等の取り組みを継続 	継続	のぼり等設置、広報えべつ等での周知、関係機関との啓発・パトロール、カラス除けサルゲッチュ、残置シールの改善等	環境保全のための事業を引き続き行う	継続中(看板は11月に撤去)
2-5)	事業系ごみの適正処理	減量推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所への指導・啓発 ・多量排出事業所の指導強化 	継続	事業者向けパンフレット配布 (2,668事業所へ郵送)	ごみ排出抑制事業として事業者を対象に啓発を行う	事業ごみ適正処理セミナーを開催予定(2月)
基本方針3 市民の視点に立ったごみ処理システムの構築							
3-1)	大型ごみ収集区分の新設	減量推進課	申込により戸別収集する「大型ごみ」の収集区分を設け排出の利便性を図る	継続	平成22年10月より大型ごみ収集を実施	排出傾向を把握し適切な収集を図る	データを収集
3-2)	指定ごみ袋の統合と新設	清掃管理課	燃やせるごみと燃やせないごみの袋を統合し、合わせて少量袋を新設	継続	平成22年10月より袋の統合と5リットル袋の新設を実施	統合と新設の状況を検証・確認	指定ごみ袋の利用状況を把握
3-3)	ごみ処理手数料の減免拡大	清掃管理課	減免の対象を要介護高齢者や2歳未満の乳幼児に拡大	継続	平成22年10月より減免の対象者を拡大	拡大の実施状況を検証・確認	減免の状況把握
3-4)	ごみ出し困難者に対する収集方法の検討	廃棄物対策課	今後は困難者の増加が予測されることから収集方法の在り方を検討	未実施		基本計画後半の導入に向け検討を予定	
3-5)	燃やせるごみの早期収集	廃棄物対策課	収集業務の地区割り・ルートなど、収集体制の在り方を検討し早期収集に努める	継続	車両及び人員の効率的運用を図るため、10月から委託契約方式を変更 (施策4-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・収集作業の現地終了時間等の把握 ・収集運搬業務委託報告書等の検証 	検討のための基礎データ取得の継続
基本方針4 経済的・効率的なごみ処理の推進							
4-1)	施設の維持管理の推進	処理施設担当	安全で安心な施設維持のため、運営管理の長期修繕計画の策定及び管理型最終処分場の安全性を確保する	継続	委託事業者よりH14.12月からの運転整備実績に基づく想定整備案、H22～H33年度の整備計画の提出	整備計画に基づく各設備機器の整備内容に関するし、指摘、指導を行う H24～29年度の整備計画の検証	委託事業者との日々の打合せ・協議 各設備機器の整備内容の確認・指摘・指導を行う
4-2)	収集運搬業務の一括委託	廃棄物対策課	効率化を図るため、行政収集に係るごみ・資源物の収集運搬業務を一括委託	継続	平成22年10月より収集運搬業務の一括委託を実施	実施状況を検証・確認	ごみ収集運搬業務の効率が向上した
4-3)	資源物・危険ごみの同日収集	廃棄物対策課	危険ごみの収集を資源物収集と同日とし収集の効率化を図る	継続	平成22年10月より危険ごみ収集を資源物収集と同日収集に変更	実施状況を検証・確認	危険ごみが適正に排出されている
4-4)	燃やせないごみの収集回数の見直し	廃棄物対策課	排出量に応じ燃やせないごみの収集回数を変更し、必要に応じた見直しを行う	継続	平成22年10月より収集量に合わせ燃やせないごみの収集回数を月2回に変更	実施状況を検証・確認	繁忙期を含めスムーズに変更できた
4-5)	ごみ処理業務の委託拡大	清掃管理課 廃棄物対策課	効率的な業務執行に努め、定型的な業務について委託の拡大を図る	継続	指定ごみ袋等の保管、配送業務の委託	指定ごみ袋等に関わる業務を委託し正職員を1名削減	23年度当初から製作から収納業務までを一括委託
4-6)	環境クリーンセンター処理手数料の検討	清掃管理課	排出抑制、費用負担の公平化などに配慮した手数料の在り方を検討	新規	直接搬入件数 家庭系ごみ：8,581件 事業系ごみ：448件	道内都市における処理手数料の把握	道内都市処理手数料の状況調査 (8月実施)
4-7)	リサイクルバンク利用者負担の検討	減量推進課	公費で運営している施設の費用負担の在り方やその手法について検討	未実施		平成26年の施設賃借期間終了までに利用者負担を加味して検討を予定	
4-8)	広報誌等への有料広告掲載の募集	減量推進課	清掃部門の定期広報物への有料広告掲載の募集を行う	新規		収集日カレンダーに広告掲載募集の準備を進める。	募集要項の作成(2・3月)
4-9)	新しいコスト計算手法の導入研究	減量推進課	事業費用の必要性や効率性を全国統一的な基準と比較検証ができるよう導入について研究する	新規		全国統一的な基準を用いての手法について研究する	会計基準の他市町村の状況把握 (2/2)